

# 一般会計決算 101億3千万円(歳出)

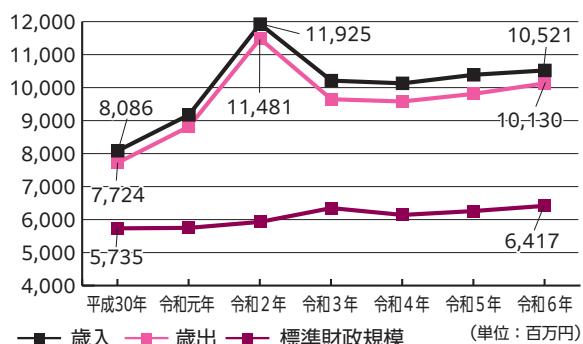
総額170億円 〔下水道事業  
会計を除く〕 (一般・国民健康保険・後期)

## 新しい重要な事業 令和6年度実施

- ラディアン周辺整備 (新庁舎整備、ラディアン改修、(仮称)福祉会館)  
    基本設計 3,300万円  
    用地取得 (果樹公園) 1億3,236万円
- こども医療費助成の18歳までの拡充 (全額) 8,850万円
- 中学校給食無償化と小学校給食費の物価上昇分支援 3,793万円
- こども家庭センターの設置 2,176万円
- 二宮小学校下の雨水対策工事 2,100万円
- 富士見が丘二丁目会館の新設 5,940万円
- 地域集会施設の耐震診断の実施と耐震改修 2,830万円
- LINE導入と庁舎窓口でのキャッシュレス決済の導入 493万円
- 高齢者の戸別収集開始 22万円

(千円以下四捨五入)

## 新型コロナ禍以降 決算規模拡大 歳入・歳出と標準財政規模

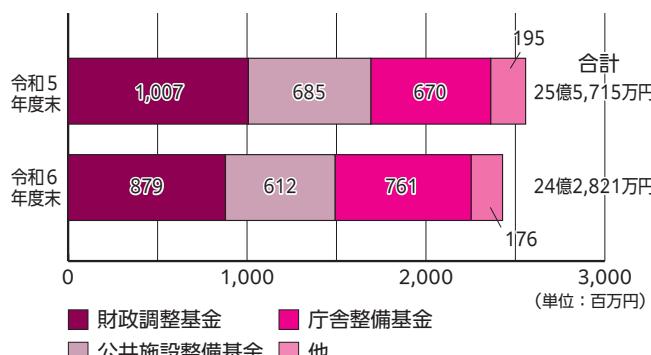


一般会計決算額は、令和元年から、物価上昇や国県補助事業の拡大に伴って増加



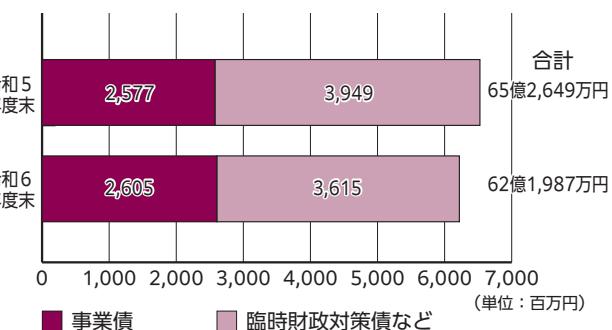
## 基 金

公共施設改修などにより基金取り崩し  
残高は約1億3千万円減



## 町 債

消防庁舎・学校改修のため町債発行  
昨年に比べ残高は約3億円減



## 前年度比3億2千万円増

高齢者医療・介護保険) 下水道事業会計 収益的支出7億3千万円  
資本的支出7億2千万円

## 討 論

## 賛 成

子ども・子育て支援、物価高騰対応支援など町民の命と暮らしを守る事業の実施を評価。  
(岡田)

新庁舎、消防庁舎等建設事業と気候市民会議や学びの教室等の社会作業療法的施策を評価。  
(一石)

令和6年度行政評価で9事業を要改善とし将来を見据えた事業の在り方を真摯に検討した。  
(古谷)

## 反 対

担い手育成・地域経済活性化施策の弱さ、統廃合ありきの小中一貫教育校推進は問題。  
(渡辺)

新庁舎建設を推進する一方で既存施設のずさんな維持管理。多くの施設で雨漏りを放置。  
(松崎)

敬老祝い金減額、新庁舎整備の説明不足、多額の不用額、町民福祉への貢献に大いに疑問。  
(浜井)

町政の信頼を揺るがす防災、新庁舎、交通、職員環境などの課題を指摘。速やかな改善を。  
(大沼)

## 審査意見

決算審査特別委員会は、審査中に出された要望を精査して、特に重要な点を8つ決定し、議会として決議しました。

- 「いのちの授業」と「こころの健康講座」は、さらに児童・生徒や保護者を巻き込んで、こどもにとって最も良い取り組みに繋げられたい。
- 防災・減災は、住民一人ひとりがリスクを知り、適切な対応が取れるように、地域、学校、行政による協働の体制を作られたい。
- 遊休・荒廃農地対策及び里山再生育成は、流域治水の観点からも一本化し、部署横断的に進められたい。
- 保育・介護の人材の育成・確保について、待遇改善等、抜本的な施策を検討されたい。
- 管理・監督者が、若手職員を大事にし、さらなる信頼感をつくり、休職者ゼロとなる職場環境を目指されたい。
- 防犯カメラは、プライバシーの確保に留意しながら設置台数を増設されたい。
- 有害鳥獣対策は、住民の被害実態に適切に対応し、被害拡大を防ぐための業務を遂行されたい。
- 音声を文字化する機能など、様々な事業に新たなデジタルツールの導入を検討されたい。



「二宮町気候非常事態宣言」に掲げた「千年続く循環するまちづくり」の推進を象徴するロゴマーク